

平成 29 (2017)年 1月19日

俳句会 於:三越

越天梁へ参道進む四方の春

松原智津子

あら玉の挨拶牛に乳搾る

松原智津子

節分に生まれて節の字賜われり

木宮節子

白濁の豚骨ラーメン寒の入り

木宮節子

ゆずり葉や少年の指す電子辞書

船矢深雪

虎落笛国際便の欠航す

船矢深雪

明り取りに猫の顔ある氷柱かな

上澤孝二

寢室や布団を伝ふ猫の嵩

上澤孝二

雪女なさけも深し怖さかな

山本俊郎

七草やすずなすずしろ絵のごとく

山本俊郎

コーヒーや電線の上積もる雪

森山圭悦

大雪や出前のように持ってくる

森山圭悦

着膨れて顔の小さな人となり

伊東次雄

鍋ものに夕餉はゆるり夜長のな

伊東次雄

トーンチャイム鳴り午後からささめ雪

滝田慶子

春の雪綾子の坂のポストかな

滝田慶子